(昭和五年三月三十一日第三種郵便物認可) 昭和十四年二月二十四日 新いわき 【金曜日】 第二千五百五十九號 【一】

二月二十三日 夕刊

日刊 但し日曜祭日翌日休刊
郵税 一ケ月 二十五錢 十五錢 一部二錢
廣告料 場所指定 一行四十錢 二十錢増
發行兼編輯 印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平市大町二十三番地 新いわき新聞社

支那單語

雪をシュエと唱ひ霜をシュアンと稱する、霧はウーで氷はピン雷はレイ、天氣のことはチイエンチー、晴のことをチン、くもりのことは陰でイン、寒は冷でロン、熱をローと云ふ

平市の新豫算 四四萬三千圓
内示會は廿八日本會は來二日

平市の新豫算は上局の五分減指示に編成難を告げてゐたが漸く決定した總額は昨報の如く減額不能寧ろ前年度當初豫算に比し増加するであらう豫想通り四十四萬三千六百圓となつた右の増加は學校の學級増加(三學級)其他の自然膨張と役所費の外豫備費にも充分の要意を置いたもので此の内示會は來る廿八日、市會の招集は來三月二日である

舊正慶祝の行事改善申合
石城の鹿島村で

石城郡鹿島村では舊正月に於ける從來の行事を時局に鑑み去る廿日(舊正二日)の事初めに於て改善申合せをなし正月行事は七日迄とし八日未明〆飾を撤去午前五時サイレンを合圖に西小屋に淨拔すること西小屋は一部落一つに限り融合和樂眞に隣保共助の美風を閑却せざること佛事は八日より執行差支なきことを實行するに決し同通牒ビラに左記を示して村内全戸に配つた

▲銃後を固く冗費を省け 省く費用を愛國貯金

内郷村の新豫算村會

石城郡内郷村の新豫算村會は今廿三日午前十時から招集件目左の如し

村基本財産差入先 歳計現金預入先 一時借入金 村税賦課率等の決定 款内流用專決處分 十四年豫算 十二年度決算 十三年度事業報告 警防團員其他の給與に關する諮問(以上)

銃後と戰陣を距て 師弟に美しい愛情
細い生活から送つた慰問袋 受けた先生から金拾圓

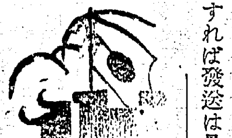
平市長橋町五〇篠塚榮子(一七)さんは兩親に死別し當年七十餘才の祖母と共に平郵便局の給仕を働く榮子さんの薄給で細い暮しを立てゝゐるが小學校に通つてゐたころの受持教師相馬郡小高町出身の平田先生が今次事變に應召第一線に活躍されてゐるに對し生活費を節約して慰問袋を送つたところ家庭の内情を知る平田氏は痛く感激し現金十圓を同家に惠まれ其れを受けた榮子さんは祖母と相談の上先生の厚志から金五圓を家計費に入れ殘る五圓を今二十三日市の軍事後援會に寄附したので重ねて知る人を感心させてゐる

磐中でチリーへ 震災の義捐金
外務省へ十圓

縣立磐城中學では今次事變勃發以來在校生千二百名が互に頭髪を刈合ひ理髪代の節約を五圓乃至十圓づゝ淺水校長の名で國防獻金を繼續し既に十四回で一百圓餘を獻金してゐるが先き頃のチリーの大震災に同情し同様の節約金十圓を外務省に義捐金として送金し其の美擧を賞されてゐる

舊正準備の年末貨 昨年より稍々好況
十日間で百七十五圓増收

平驛に於ける舊正十日前の今二月中旬貨物は發送一六八〇噸、到着六四三三噸この收入五千四百二十八圓で昨年の同十日前に當る一月下旬の發送一七五二噸、到着八〇四八噸收入五千二百五十三圓に比較すれば發送は量に於て七十二噸を減じてゐるが收入では百七十五圓を増收した尚ほ到着の千六百十五噸減は磐炭發電の石炭昨年五〇八二噸であつたものが本年三九五一噸による一六一五噸の減少に大体差引が取れるもので一般貨物は前年より稍々好況を示した



至極元氣で迎ふ 戰地二年の正月
平市柳町出身 井上榮市

新春の賀狀あり難く拜受いたしました、御蔭様にて小兵等も至極元氣で戰地第二年の正月を迎ひましたことは之れ偏へに皆々様の銃後に間斷なき御活動なし下される御蔭様と深く感謝する次第であります、皇恩と皆様の御期待に副へ申すべくたゞ〳〵聖戰の目的を貫く心だけが一杯です、先日はまた福島班の慰問團を御遣はし下さいまして平市の中島さんに會ひましたが戰地の人氣は宮城、新潟との三縣のうち本縣が一番でしたまで、先づは御禮かた〳〵御通知まで、 早々

日夜軍務に精勵
平市四丁目出身 和田千代太郎

謹啓、年頭に際しまして有がたき御祝詞をたまはり厚く感謝いたします、今後ともに益々元氣、聖戰の目的を完ふする覺悟でもつて日夜軍務に精勵いたし居りますれば他事ながら御休心下さるやう尚ほ相變らず御鞭撻のほどを御願ひ致します末筆ながら皆々様の御健康を御祈り申し上げ御禮と近況の御知らせまで、 敬具

戰地の銃劍術試合に賞狀を受く

石城郡植田町の高倉出身上等兵鈴木勉君は牧野部隊に活躍中であるが叔父昇、利男、豊三君と肩を列べて從軍各それ〳〵の武勳を立てゝゐる中に最近勉君の陣中便に一初年兵係を命ぜられ一月十八日銃劍術の試合に隊を代表して出たが堂々相手を倒し部隊長から賞狀を授與された、叔父さん達に負けず活躍します」と元氣な便りを寄せて留守宅を喜ばせてゐる

斬れるぞ關孫六 敵兵八名の首
傳家の寶刀隊の譽

石城郡植田警察署郡魁巡査の息相馬郡八澤村の南柏木出身上等兵郡龜淸君は宮崎部隊下に奮闘されてゐるが同家は舊相瀧馬士で祖父義忠氏が戊辰の役に振つた傳家の寶刀關孫六(二尺九寸)を携へて應召武漢三鎮の攻略戰に於て敵八名を叩き斬つたとき敵兵の首が四尺ぐらゐふつ飛びながら愛刀に刄こぼれ一つなく隊中隨一の名を得たと前記實父の許に武勇談を寄せ一家を喜ばせてゐるが龜清君は縣立相馬農蠶校出で劍道初段の腕こうした剛毅の中に郷里思ひが深く曩には八澤村銃後會に金二十圓の寄附を送り正月には祖母ふみ(七三)さんに數圓の小遣錢を送るなど一面非常なやさしさのある勇士である

五ケ村聯合木炭品評會
木戸小學校にて

双葉郡木戸村小學校に於て來る二十六日同村外龍田、廣野大久、久の濱五ケ町村聯合木炭品評會を開催、濱木炭同業組合から褒賞狀並に賞品を授與すと

拾つて受けた金から五圓を寄附

平市紺屋町一細谷賢さんは昨年二月金十圓を路上で拾ひ平署に屆てゐたところ遺失者がないので拾得者に還つた該金から五圓を今二十三日市の軍事後援會に寄附した

大野の木炭品評

石城郡大野村の木炭改良組合では來る三月七日同村大字八莖の改良組合事務所に於て木炭品評會を開催すると

防空組織の評議

平市では今二十三日午後一時から市會議事堂に防空組織評議員會を開催した

萬歳師行方不明

本縣喜多方町字新道赤城つるよ方の木村寅次郎(三三)は昨年十二月末新正月の萬歳稼ぎに友達と二人で出かけたまゝ音信もなければ歸宅もしないので今二十三日前記つるよさんから平署に搜索方を願出た

賭徒四名の檢擧

石城郡内郷村の石炭商齋藤寅吉(五〇)方で去る二十日齋藤外同村の坑夫佐藤源太郎(四四)中條祖豆吉(四〇)豬狩太一(四一)四名が賭博開帳中平署員に踏込まれて檢擧された

坑夫の万引發覺

石城郡内郷村の磐城炭礦綴合宿所坑夫富樫治五郎(三〇)假名は去る二十一日午後三時頃平市四丁目ツルヤ洋品店頭で六圓五十錢の純毛シャツを萬引するところを警戒監視中の平署員に捕はれたが富樫は外に同町マルトモ書店から萬年筆二本價十一圓を萬引所持してゐるのを發見された

研職の旅倒れ

平市の鎌田町字下川原鈴木龜松方軒先きの好日當りに昨二十二日午前十時頃休んでゐた双物研職岐阜縣郡上郡北濃村生れ長谷川萬六(四九)は持病喘息の激發に卒倒せるを發見した附近のものが應急處置を施したが遂に絶命し即日平署の檢視を受けたが同人は鎌田町三河屋方に止宿市内を研屋でふれてゐたもので引取人なく市の假埋葬に附された

新興ダイヤペン付
ウエル萬年筆 一、五〇以上
商工省主催『代用品工業振興展覽會』出品申込の各種代用品一萬數千點中萬年筆としてはウエルたゞ一點嚴重なる鑑査に合格したる新興國策製品
代理店 魁文堂 電話三一三

平、小名濱間の鐵道(一)
代議士、星一氏の質問

第七十四回帝國議會衆議院豫算委員第六分科鐵道省所管會議錄拔抄

開議昭和十四年二月七日(火曜日)午後一時卅三分

星委員 私は一般に亘つて、後から局部に亘つての質問をして見たいと思ひます(中略)今度は局部に入るのでありますが、昭和十四年度の鐵道省所管の繼續費、鐵道建設改良及自動車線設備費と云ふ中に、平…小名濱間の鐵道のことが書いてあります、既定額が二百四十七萬三千圓、追加額が十萬圓、改訂額二百五十七萬三千圓、十三年度までの支出が百三萬圓であります、それから十四年度は六十四萬二千圓、十五年度は九十萬一千圓になつて居ります、此の鐵道は昭和二年の五十二議會に追加線の說明として平小名濱間の鐵道が提出されて居ります、其の說明に依りますと「本線路は鐵道敷設法豫定線第三十一號に該當し延長八哩七分常磐線平驛に起り略ぼ小名濱に通ずる街道と纒ひ小名濱に達す」後を讀むと時間を取りますから讀みませぬが、其の建設費は百七十五萬圓としてあつて、說明の要點は「海産物の搬出の途を開き益々海産業の發展を促し」と云ふことゝ、漁港の機能を發揮せしめ、地方交通の便を開き産業の進展に資すると云ふことで、所謂農山漁村の福利の爲だ、斯う云ふことが主たるものであります、從たるものに於ては常磐と磐越沿線に於ける石炭の搬出に不便だ、斯う云ふことが書いてあるのであります、此の昭和二年の議會に提出されたる此の鐵道が今なほ敷設されて居りませぬ、そうして是が地方に今大きな問題となつて起つて居ります、

産業欄

産めよ殖やせよ 銃後の寵兒

(4)

需要の一割にも及ばぬアンゴラ

▲兎肉、地方農會または養兎團体に於て共同屠殺を行ふ場合或は指定處理人に屠殺せる場合少量のものは地方仲買商により地方販賣するかまたは東京、大阪方面の問屋に販賣すること多きも相當量に逹するときは縣農會その他により軍部に供出す、取引價格は軍部買上げまたは個人商取引により多少相違し更に地方的事情によりても不統一だが大体百匁當り二〇乃至三〇錢を通常とす、

▲兎毛、近來毛用アンゴラ種の飼育普及して地方農會等にて共同剪毛をなすもの或は生産兎毛を縣農會の斡旋により東京方面の兎毛會社と現地購買その他の方法によりて直接取引をなしつゝあり主なる兎毛取引先は東京アンゴラ兎毛株式會社日本ファー工業社、鐘ケ淵紡績株式會社、大日本アンゴラ兎普及奬勵會（以上東京）日本アンゴラ産業株式會社（名古屋市）等にして取引價格は規格により多少の差異あるも一匁四乃至八錢程度である、

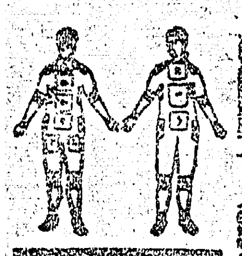
▲生兎、近時飼育者で屠殺剝皮をなすもの增加しつゝあるがなほ地方には自家屠殺を忌み生兎のまゝ取引され個人取引では地方生兎商または仲買商等に賣却されて更に大都市に送られ又農會並に養兎團体で生兎共同販賣の斡旋を行ふ地方もあり取引價格は百匁當り一五六錢乃至二〇錢程度を上下してゐる。

藤沼醫院
平市紺屋町・電五〇七番

債券、公債 両替、金融 多田井質店
平市大工町 電話五九一番

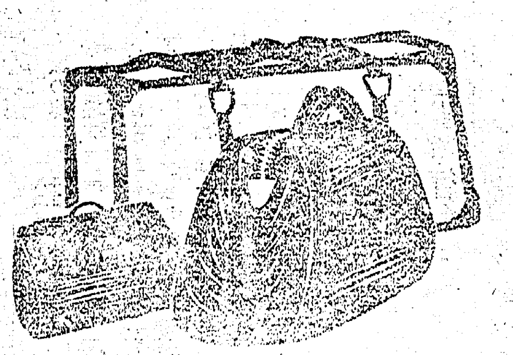
便利で經濟な日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市白銀町十番地 （電話七二三番）
日下家政婦會
會長 日下すい子
會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や編物をお教授致します）を御誘ひ致します

お醤油は……ヤマフル
醤油、味噌 たひら正宗 鰹節食料品
塩屋 山崎合名會社
電話 本店 二一〇番 營業部 二七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎



漢方 （生）命丹
定價 四〇瓦入 五十錢 八〇瓦入 九十五錢
平市五丁目角 山野邊藥局

病室増築、手術室完備
産科 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二
平市新川町 「電話三六九番」

カバンと洋品類

（平市新道通り驛前） 眞砂屋 （電話五六）

新時代の要求
附屬事業に等外看護婦を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します、
平市南町 電三〇七 平看護婦會
會長 清野キヨ
御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 姙婦産婦の御家庭
經濟的な御便宜御用命をお願ひ致します

國民精神總動員
日本國民必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
1部10セン
お取次致して居ります
平二 西村屋藥局 電三

根本産科婦人科醫院
平市南町
根本荘次郎
根本貞雄
電話三四番
（入院随時）

平病院（平市元共濟病院跡 電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科 院長 鈴木定藏
内外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從來す（急患は此の限りにあらず）